

平成28年第8回定例教育委員会

平成28年8月26日(金)午後2時30分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長 委員 委員 委員 委員	月田健二 支部英孝 郷早見 橋本幸子 林大輔	説明員	教育部長 教育部次長 学校教育支援室長 総務課長 総務課主幹 学校教育課長 給食センター長 対雁調理場長 生涯学習課長 スポーツ課長 情報図書館長 郷土資料館長 教育支援課長 郷土資料館主幹 総務課総務係長	渡部丈司 萬直樹 伊藤忠信 山崎正樹 松崎英明 廣田修治 内藤信治 鈴木正春 佐々木倫子 三浦洋博 山岸博幸 櫛田智和 浦田秀志 兼平一志 星野崇志
			欠席者	2名	
			記録員	2名	
			傍聴者	2名	

1 報告事項

- (1) 平成28年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について

2 審議事項

- (1) 平成28年議案第33号
平成29年度に使用する小学校用教科用図書の採択について
- (2) 平成28年議案第34号
平成29年度に使用する中学校用教科用図書の採択について
- (3) 平成28年議案第35号
平成29年度に使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
- (4) 平成28年議案第36号
職員の復職発令について

3 その他

○各課所管事項について

- (1) 青少年キャンプ村こんがり王国の実施結果について
- (2) 市P連と連携した情報モラル啓発に係るルール作りについて

○次回教育委員会予定案件について

○平成28年第9回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長

(開会)

それでは、ただいまから、「平成28年第8回定例教育委員会」を開会いたします。

本日の議事日程は配付のとおりです。

会議に先立ち、本日の会議録署名人を郷委員にお願いいたします。

議事に入ります前にお諮りしたい事項があります。

議案第36号「職員の復職発令について」は、人事案件でありますことから、秘密会による審議を提案するものです。これにご異議ございませんか。

(一同了承)

委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第36号は秘密会により進行いたします。

本件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、その他の説明員入室のため暫時休憩いたします。

その後、配付の会議次第にしたがいまして、進行いたします。

また、議案第33号ないし議案第35号の3件の議案につきましては、関連がありますことから、一括説明・一括質疑として進めてよろしいでしょうか。

(一同了承)

そのように確認いたします。

<秘密会につき、会議録省略>

月田教育長

それでは委員会を再開いたします。議事に入ります。

1の報告事項(1)「平成28年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について」の報告を求めます。山崎総務課長お願いいたします。

山崎総務課長

報告事項(1)平成28年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果についてご報告いたします。

資料1ページをご覧ください。

平成28年度の第1回学校一斉公開は、去る6月16日に実施しております。

見学者は、私立の立命館慶祥中学校を含む、市内の全小中学校27校において、延べ1,552人で、昨年度同時期の見学者数1,112人から440人増加しております。

また、アンケートの回答者数は588人で、見学者の38パーセントに当たり、昨年度同時期の回答者数より81人増加しております。

次に、アンケートの集計結果の概要について申し上げます。

問1では、「学校に自分の家族がいる」人の割合が、小中学校全体で51パーセントと、昨年度同時期の64パーセントから減少しております。

問2では、「学校一斉公開に来たのが初めて」という人の割合が、小学校・中学校ともに昨年度同時期とほぼ同じであり、問3では、「他の学校も見学する」という人の割合が、小学校45パーセント、中学校68パーセントと、複数の学校を見学する割合が増加しております。

2ページをご覧ください。

問4では、「学校一斉公開を今後も必要と考える」人の割合が98パーセントにのぼっており、問5では、「機会があれば今後も学校に来たいと思う」人の割合が98パーセントとなっております。

問6では、「学校は地域に開かれていると思う」人の割合が、小学校では昨年度とほぼ同じですが、中学校では10ポイント減になっております。

この理由といたしましては、「無回答」14パーセントの影響によるものと考えられます。

3ページをご覧ください。

問7では、「学校行事などに協力したいと思う」人の割合は、小学校では微増しておりますが、中学校では微減しております。

問8の「見学した学校の印象」については、昨年度同時期とほぼ同じであります。また、問9の「児童・生徒の様子」については、小学校・中学校ともに「普通」と「無回答」の

山崎総務課長	<p>割合が昨年度同時期より高くなっていますが、自由記載欄では、元気に挨拶をしてくれた、授業に集中しているなどの意見が多くありました。</p> <p>なお、その他の内容については、4ページから8ページにかけまして、学校の印象、児童・生徒の様子のほか、江別市の教育等に関する意見や感想などを掲載しておりますので、こちらについてもご参照いただければと思います。以上でございます。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました「平成28年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について」、質問等がございましたらお受けいたします。何か意見等ありますでしょうか。</p>
支部委員	<p>何点かありますが、まず、学校一斉公開の見学者数の延べ1,552人という数字は、どのようにカウントされたのでしょうか。信頼性のある数字だとは思いますが、カウントの仕方が見えなかったので質問しました。</p> <p>もう一点は、5ページの中学校の施設関係のところ、学校のトイレの洋式を増やした方が良いと思います、というような意見が他3件ありますが、トイレの洋式化のスケジュール等が組まれているのかどうか。組まれているのであれば、どのようなスケジュールになっていて、最終目標はどれくらいで洋式化が終了するのかを教えてください。</p>
月田教育長	<p>まず第一点目ですけれども、見学者数のカウントの方法等をどのようにしているのかということですがいかがでしょうか。</p>
山崎総務課長	<p>見学者数のカウントにつきましては、学校一斉公開の日には、学校職員が玄関の所におり、来校者に学校の要覧やアンケートをお渡しするとともに、名簿に記名していただいておりますので、その記名者数がこの数字になっているとご理解いただければと思います。</p>
月田教育長	<p>それともう一つ、学校のトイレの洋式を増やした方が良いと思います、ということが5ページのところに書かれておりますが、洋式化についての目標や現在の状況について、回答願います。</p>
山崎総務課長	<p>手元に資料がないので具体的な数字はお答えできませんが、江別市にある26校に関しましては、過去からの経緯として、すべてを洋式化するのではなく、教育上の配慮等により和式が必要とされる場合もあることから、児童生徒数に応じて一定割合を洋式化するというので、年次で進めてきたところです。</p> <p>現状で申しますと、ほぼすべての学校で計画に基づく洋式化は達成しています。ただ、この間、一年、二年で済んだ話ではないものですから、結果的にトイレのニーズが変わってきている傾向にあります。一昔前は、和式が使えないということがありながらも、洋式は直接肌に触れる部分についての賛否がございましたので、一定割合というのは、半分程度を目標にしてきたところです。しかし、現状、皆さんの生活様式も変わってきていることから、その中でどちらが良いという動向についても大きく変わってきているのだろうと思います。</p> <p>現状、これ以上の洋式化を進めるということになりますと、トイレ部分の絶対面積の中で割振りし直すことが難しくなってきていることから、全体的な校舎のレイアウトの中でトイレの面積を増やすというようなことをしないと、更なる洋式化にはなっていきません。</p> <p>また、さらに洋式化を進めるかということについても、全体的な合意、あるいは決定がなされていないという状況であります。以上でございます。</p>
月田教育長	<p>よろしいでしょうか。</p>
支部委員	<p>わかりました。今、コミュニティ・スクールの話も全体として出てきておりますので、これらの色々なアンケートの結果もよく検討しながら進めていただければと思うところであります。よろしく願います。</p>
月田教育長	<p>トイレの洋式化ですが、和式のトイレを洋式にするためには、面積が1.5倍必要です。和式を三つ崩して、洋式を二つ付けるというような感じぐらいではないかと思うので、トイレ自体が減っていきますから、その辺も考えていかなければならないかと思っております。</p> <p>また、洋式自体をすごく嫌う子ども、和式でないと嫌だという子どももいますので、和式もやっぱり残さなくてはならないかと思っています。</p>
林委員	<p>他にございますか。</p> <p>初めてこの資料を見たので質問ですが、最初の設問で、この学校に自分の家族がいますかという設問がありますが、参加者1,500人を超える方たちの半分が、家族がいないのに学校見学に来ているということで、私が想像していたよりかなり学校への関心度が高く、嬉しく思います。昨年の数字も大体同じような感じですが、以前から江別市は自分の子どもがいなくても、半分くらいの方が学校公開日に来るような環境、それぐらいの人数</p>

林委員 山崎総務課長	<p>の比率なのでしょうか。参考に教えていただければと思います。</p> <p>数値の傾向としては、ここは大きく変わっておりません。要因といたしましては、やはり江別の場合、学校選択制をやっているということ、それから、地域の方の関わりの中で、学校見学に来られる方も多いということで捉えてございます。</p>
月田教育長 橋本委員	<p>他にございますか。</p> <p>4ページの真ん中の下の方になりますが、資料として、項目と授業時間を記載した物があれば良かったと思いましたが、という意見と、教室のドアが閉まっていたり入室することができなかった、という意見ですが、毎回毎回同じことが出てきているので、とても残念に思います。たったこれだけのことで、印象が決まってしまうと思うので、毎回のことですけれども、徹底していただけたらと思います。</p> <p>7ページに、すごく長くご意見書いていただいている方で、高等盲学校と記載されており、ここのところは直していただけるようお願いいたします。</p>
月田教育長 郷委員	<p>他にございますか。</p> <p>今の橋本委員の話の繋がりですが、実際そうだったということなのでしょうか。27年閉校になっているのに、記載されていたということなのでしょうか。事実関係としてはいかがですか。</p>
山崎総務課長 郷委員	<p>資料にそのまま記載されていたということでございます。</p> <p>わかりました。続いてですが、お手洗いの表示の件ですけれども、例えば、一般の人は参観日などが無い限り、学校に来ないかと思えます。そういった参観日など保護者の方が来た時、職員用、児童生徒用どちらのトイレを使ったら良いのかわからないかと思えます。そこで、表示に関して、これからどのような対応をしようかと考えていらっしゃいますか。</p>
山崎総務課長	<p>自由記載欄でいただいているご意見については、次回の学校一斉公開に向けて、対応をとっていく形になります。こういったご意見に関しては、各学校でも、一斉公開日に関しては、例えば見学していただくための準備ですとか、こちらにこういった教室がありますとか、あるいは学校の配置図ですとか、配っていただいている学校が多いのですが、物理的状況によってもわかりにくいところもありますので、そこは各学校の実情に応じて、わかりやすい表示をしていただくように、次回に向けては、その辺のお願いを各学校に改めてしようと思えます。以上であります。</p>
月田教育長	<p>他にございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
廣田学校教育 課長	<p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>(1)平成28年議案第33号「平成29年度に使用する小学校用教科用図書の採択について」、(2)平成28年議案第34号「平成29年度に使用する中学校用教科用図書の採択について」、及び(3)平成28年議案第35号「平成29年度から使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について」、以上3件についての一括説明を求めます。廣田学校教育課長お願いします。</p> <p>議案第33号から議案第35号まで、一括してご説明いたします。</p> <p>まず、議案第33号平成29年度に使用する小学校用教科用図書の採択について、ご説明いたします。</p> <p>教科用図書の採択につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条および、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条の規定により、採択した教科用図書の発行が行われないなど特別な場合を除き、4年間、毎年度種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされております。</p> <p>既に、平成26年第8回定例教育委員会における採択の際に、選定理由書の内容を確認し決定していることから、平成29年度に使用する小学校用教科用図書につきましては、平成26年に採択したのと同じ教科用図書を採択しようとするものです。</p> <p>既に採択された教科用図書は、2ページの平成27年度から使用する小学校用教科用図書採択一覧に記載のとおりです。</p> <p>次に、議案第34号平成29年度に使用する中学校用教科用図書の採択について、ご説明いたします。</p> <p>中学校用教科用図書については、小学校用教科用図書と同じく、既に平成27年第8回</p>

廣田学校教育課長	<p>定例教育委員会における採択の際に、選定理由書の内容を確認し決定していることから、平成29年度に使用する中学校用教科用図書につきましては、平成27年に採択したものと同一教科用図書を採択しようとするものです。</p> <p>既に採択された教科用図書は、2ページの平成28年度から使用する中学校用教科用図書採択一覧に記載のとおりです。</p> <p>次に、議案第35号平成29年度から使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について、ご説明いたします。</p> <p>小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条により、文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書以外の図書を使用することができることとされていることから、北海道教育委員会が作成した、平成29年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料に掲載されている308点の一般図書を加えて採択しようとするものです。</p> <p>なお、この一般図書につきましては、北海道教育委員会から示された参考資料について、第1地区教科用図書採択教育委員会協議会が調査研究を行い、協議の結果、教科書としての使用を承認したことについて、各市町村教育委員会に対して通知があったものです。</p> <p>以上、3件の議案についてご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
月田教育長	<p>ただいま説明のありました3件の議案に対する質問等がございましたら、一括してお受けいたします。質問、または意見はありますか。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、平成28年議案第33号ないし議案第35号について、承認することにご異議ありませんか。</p> <p>（一同了承）</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他に入ります。</p>
佐々木生涯学習課長	<p>各課所管事項（1）「青少年キャンプ村こんがり王国の実施結果について」の説明を求めます。佐々木生涯学習課長お願いいたします。</p> <p>青少年キャンプ村「こんがり王国」の開催結果についてお知らせいたします。</p> <p>8月1日から8月6日まで開催しました「こんがり王国」の最終的な参加者は、541名でした。</p>
月田教育長 橋本委員	<p>期間中天候に恵まれ、全ての子どもがテントの設営・撤収、炊事やキャンプファイヤーを楽しむことができました。以上です。</p> <p>本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。何かありますでしょうか。</p> <p>ケガ、病気などによる早退者が4名ということですがけれども、重大なことではなかったのでしょうか。</p>
佐々木生涯学習課長	<p>ケガや体調不良というのは、内訳になりますけども、まき割り作業で、ちょっと手をケガしてしまった子ですとか、炊事中に火傷を負った子、後は気持ちが折れてしまって自宅に帰ってしまった子などがおりましたけれども、重篤なものではございません。以上です。</p>
月田教育長 支部委員	<p>他にございますか。</p> <p>今年度541名ということで、前年度、前々年度からみると、参加者が100名程度下がってきているように見受けますが、何か理由というか、総体的にお子さんの数が減ったから、参加者が減ったということであれば良いのですが、何か情報みたいなものがあれば、今後のこんがり王国に生かせたらと思うものですから、質問しました。</p>
佐々木生涯学習課長	<p>いま委員がおっしゃるとおり、対象としている小学生中学生の人数が減ってきておりますので、こんがり王国の参加者数の減少にも、少なからず影響を与えていると思います。参加比率も下がりつつありますが、現状この参加に際しましては、5名以上のグループで参加してほしいという形で、募集をかけておりますので、その大きなグループでの参加というのが、いまのお子さんには難しい部分もあるようです。</p>
橋本委員	<p>次年度に向けましては、その辺りも少し検討していきたいと考えております。以上です。</p> <p>私も今年初めて見せていただきまして、来年で50回を迎えるという歴史があるということですが、代々、このキャンプに参加した子供たちが大人になって、高校生、大学生でこれを手伝って、また、その人たちが大人になっても、資材を運ぶなどの支援をしてくれているということをお聞きしまして、すばらしい事業だと思いました。なかなかあま</p>

橋本委員	り聞いたことのないようなものなので、こういったものを大事にして、子供たちに良い体験を増やしていただけたらと思います。
月田教育長 橋本委員	少し別なお話になってもいいですか。 どうぞ。
月田教育長	同じ時期に、セラミックアートセンターの方でも展示をやっていたので、新聞に掲載されていましたが、ご案内いただきまして参加させていただきました。 雨だったせいか、全然他のお客さまと会うことがなかったので、一体どのぐらいの方が、楽しんでいただいたのかということが少し気になったのと、運搬と展示には、相当ご苦労されたと思いますので、どのぐらい費用がかかったのかというのが気になりましたので、教えていただければと思います。
伊藤学校教育 支援室長	それは、後で扱いたいと思います。 それでは、この件に関してはよろしいでしょうか。 (質疑終了) それでは、次にいきたいと思います。 次第に記載されておりませんが、各課所管事項(2)として、「市P連と連携した情報モラル啓発に係るルール作りについて」の説明を求めます。伊藤学校教育支援室長お願いいたします。
伊藤学校教育 支援室長	私から、情報モラルリーフレットの配布について説明いたします。 江別市教育委員会では、江別市PTA連合会と協力して、情報モラルに関するリーフレットを作成いたしましたので報告いたします。 作成した資料は、お手元のカラー刷り「みんなで考えよう！ネットの正しい使い方」と「スマホやネットに潜む危険・トラブル」の2種類であります。 まず、このリーフレットを作成した目的ですが、年々、小中学生のスマホ等の所持率が増大し、かつ低年齢化しております。これらのインターネットを活用する機器等については、利便性に反して、ネット依存による健康被害や個人情報の流出、LINEによるネットトラブル等の危険性をはらんでいるところであります。このようなことから、子どもたちが安全安心して暮らしていくためには、情報モラル教育が重要なことから、リーフレットを作成し、配布するものであります。 リーフレットは、昨年度初めて江別市教育委員会と江別市PTA連合会で作成・配付しており、今年度は2回目となります。 昨年度は、小学校4年生から中学校3年生までに同じリーフレットを配布していましたが、教育委員の皆さんや学校関係者から小学生用と中学生用は分けた方が良いとの意見がありましたことから、今年度は小学校4年生から6年生の児童には「みんなで考えよう！ネットの正しい使い方」を、中学生には「スマホやネットに潜む危険・トラブル」をそれぞれ配布いたします。 まず、小学生用の「みんなで考えよう！ネットの正しい使い方」をお開きください。こちらは、生活習慣やネット上のトラブルなど4項目について、選択方式で児童たちに考えてもらうようにしてあります。 次に、中学生用の「スマホやネットに潜む危険・トラブル」をお開きください。こちらは、子供たちが犯罪やトラブルに巻き込まれた事例を紹介し、子供たちに犯罪等に巻き込まれないように考えてもらう内容にしております。 小学生用、中学生用問わずリーフレットの最後のページでは、昨年度と同様に家庭でのインターネットルール作りについての欄を設けております。情報モラルの学習のためには、学校から教えるだけでなく、保護者と児童生徒と一緒にネット利用等について考え、家庭でのルールづくりについて、取り組むことが大切であると考えているからでございます。ルールの例として、7項目掲載したところであり、7番目の「スマホやゲーム機は・・・ながら使用しない」というのは、最近流行っております「ポケモンGO」の対策として、「歩きながら・自転車に乗りながら使用しない」というルールの例として入れているところでございます。 リーフレットは、来週以降、学校から児童生徒に配布する予定であり、その際には、担任の教員から内容で留意することや家庭でのルール作りについて、児童生徒と一緒に考える時間を持つようにしていただく予定です。 なお、今後ですが、市のホームページでもリーフレットを紹介していきたいと思ってお

伊藤学校教育 支援室長	ります。 また、この情報モラルリーフレットについて、学校から意見を聞き、内容を変えながら、次年度以降も発行していく考えであります。以上です。
月田教育長 支部委員	本件に対する質問等、お受けいたします。何かございませんか。 昨年度初めてリーフレットができ、そして今回すぐ小学生用と中学生用を分けていただき、いま見せていただきましたが、非常にそれぞれの学年にあった内容になっていると思います。今、伊藤学校教育支援室長が言われましたように、もっと皆さんの意見を、それから現場の意見を聞きながら、いい物を作っていたいただければと思っております。
月田教育長 橋本委員	他にありますか。
月田教育長	せっかく立派なものを作ったので、たくさん活用していただければと思います。
橋本委員	それでは、その他として、先程ありました郷土資料館に対する意見でありますけども、もう一度、橋本委員の方から言っていただければと思いますので、よろしくお願ひします。 セラミックアートセンターの特別の展示だったと思いますが、トイレに見るやきもの文化というものをご案内いただきましたが、何人ぐらいの方が見学されたのかということと、非常に大がかりなものが多数あったので、どのくらいの費用がかかったのか、教えていただきたいのですが、いかがでしょうか。
櫛田郷土資料 館長	ただいまの件について、手元に資料がないということもありますが、トイレに見るやきもの文化の展示については、7月23日から8月28日までの37日間の日程で行っております。現在のところ、おおむね1日20名程度の入場者となっております。先般行った展示物をお借りした瀬戸蔵ミュージアム館長の講演会等では、ラジオやテレビなどの影響もあり50数名ほどの入場を迎えておりますが、後半はやや減少しております。現在のところ、最終集計はしておりませんが、600名から700名程度の入場となっております。
月田教育長	費用については、250万ほどの輸送費用をかけております。以上です。
橋本委員	橋本委員、何かございますか。
月田教育長	新聞とかにも出てはいましたが、もっとたくさんの人に楽しんでいただければ良かったかと思ひます。
山崎総務課長	他に何かございますか。 (質疑終了) 次に、次回定例教育委員会予定案件及び日程について、説明をお願いいたします。山崎総務課長お願いいたします。
月田教育長	次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、「平成28年第3回市議会定例会の一般質問について」などを予定しております。また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、9月27日火曜日、午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょう。
	ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は9月27日火曜日、午後2時30分からということで、皆様よろしいでしょうか。 (一同了承) 以上をもちまして、第8回定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございます。 (閉会)

終了 午後3時24分

署名人（教育長） 月田 健二

署 名 人 郷 早見